

高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県協議会 西日本高速道路(株)四国支社・国土交通省四国地方整備局への 合同緊急提言

平成30年7月7日に発生した高知自動車道の立川橋の流失を受け、9月12日に「高知県道路利用者会議（会長：楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（会長：池田洋光）」が、早期の全面復旧及び高知～須崎東間の暫定二車線区間の四車線化について、緊急提言を行いました。

●提言項目

- 一、大規模災害時の「命の道」そして地域の経済活動に不可欠な、高知自動車道(大豊町立川地区)の早期の全面復旧
- 一、大規模災害時においてもより信頼性が高い道路ネットワーク機能の確保に不可欠な、暫定二車線区間の四車線化

●西日本高速道路(株)四国支社への提言



【池田会長】

- 円滑で安定的な人流・物流を確保するため、本県の大動脈である高知自動車道の早期の全面復旧が不可欠
- 増加している高知新港へのクルーズ客船の寄港による効果を県西部へ拡大するためには安全性・定時性が向上する暫定二車線区間の四車線化が必要
- 大規模災害時における円滑な支援部隊の進出等や平常時における迅速で確実性が高い救急搬送を確保するためにも、四車線化が必要



【竹本副支社長】

- 高知自動車道は高知県と県外を結ぶ大変重要な役割を担っていると認識している
- 早期復旧に向け全力で取り組む
- 速度低下や重大事故防止の観点に加え、大規模災害時の円滑な救援物資の輸送や老朽化対策等の工事中の通行の継続においても、四車線が必要
- 国の動向に注視しながら、暫定二車線区間の課題解決に向け取り組む

奥左から:守屋総務企画部長、竹本副支社長、熊野保全サービス部長
手前左から:肥本道路課長、池田会長(中土佐町長)、村田土木部長

●国土交通省四国地方整備局への提言



【池田会長】

- 大規模な災害であったにもかかわらず早期に通行が再開されたことは、四車線化されていた効果である
- しかし、今年度のお盆期間中には渋滞が発生し、また、事前通行規制による一般国道へ迂回を強いられ、利用者の負担が増大し、本県の経済に大きな影響を及ぼしている
- 本県の人流・物流を支える大動脈の早期の全面復旧と、大規模災害への備えを高める暫定二車線区間の四車線化をお願いする



左から:横尾調査官、平井局長、谷村道路部長



左から:村田土木部長、池田会長(中土佐町長)、肥本道路課長

【平井局長】

- 今回の災害では、ダブルネットワークが確保されていたことにより、交通の途絶が発生しなかった
- 加えて、四車線化が完了していたため、高速道路の早期の利用再開に繋がった
- 整備局としても、早期復旧に向けた支援をスピード感を持って行う
- ミッシングリンクの早期解消とともに、今回の四車線の効果を訴えて頂き、整備に向けた機運を高めて頂きたい